公開シンポジウム

教育改革と可視化

― 生成AIは大学をどう変えるのか ―

【基調講演】

山田 礼子 先生（同志社大学）

*ウェルビーイング*と*包摂性*から*読み解く*教育改革

― AI活用がもたらす新しい高等教育像 ―

- ✓AIは、ツールでなく教育環境
- ✓成果物評価から思考プロセス評価へ
- ✓包括性ウェルビーイングを制度に

特別報告

生成AI利用に関する日韓共同調査報告

- ✓ 利用経験が理解と態度を形成する
- ✓ 両大学は異なる発展段階にある
- ✓ 制度的支援の必要性は共通認識
- ✓ 分断の本質は“経験格差”

【本シンポジウムの核心論点】

- 学習者特性の可視化とウェルビーイング保障の制度化
- 協働学習における「取り残され感」の可視化とAIファシリテーション
- 生成AIによるLOD（Level of Detail）調整と認知負荷最適化
- WBI（Well-Being Indicators）を含む教育評価指標の再設計

2026年3月19日（木）14:00–17:00

大阪成蹊大学（ハイブリッド開催）

主催：日本学術会議 総合工学委員会

共催：大阪成蹊大学